

にしいら

仲間との思い出胸に、希望の旅立ち

P 2～3 特集 若者まちづくり

プロジェクトの取り組み

P 4～6 平成26年度 町政方針

P 7～8 3月町議会定例会報告

P 9 ぼくら わたしたち 新一年生





ひと 頑張る女性がいる



西会津の頑張る女性に焦点を当て制作したポスター



女子旅まるごと西会津ツアーでそば打ちを体験する参加者



2月20日に行われた活動発表会



グループで重ねられた検討作業



女子旅まるごと西会津ツアー参加者は自然織り体験に挑戦



「こづゆ」の試作



西会津ふるさとまつりで来場者に振る舞われた「こづゆ」



ふるさとまつりで行われた大根おろしの早食い「すりすりんびっく」

特集 地域活性化へ、アイデア出し合い実践

若者まちづくりプロジェクトの取り組み

町内の若者が、地域活性化のアイデアを出し合い、そして事業を企画、実践する「若者まちづくりプロジェクト会議」。4年目となる今年度は39名が参加し、「観光」「ご当地グルメ・特産品」「情報発信」「イベント」の4グループで、さまざまな事業を展開してきました。今月号と次号ではプロジェクト会議の取り組みについて紹介します。

町では、次代を担うリーダー的人材の育成、若者の柔軟な発想、アイデアを町づくりに生かすことを目的に、平成22年度から「若者まちづくりプロジェクト会議」を実施してきました。今年度の活動発表会は2月20日に開かれ、4グループが活動内容や成果を報告し、今後の課題などを発表しました。

西会津ふるさとまつりで来場者に提供しました。「情報発信グループ」は、フェイスブックによるイベント、催しなどの情報発信、町PR用ポスターの製作を行いました。「イベントグループ」は、ふるさとまつりで「すりすりんびっく（大根をすりおろし早食いを競う）」を開催し、また、雪国まつりでは「かき氷早食い選手権」を開催しました。

『観光グループ』は昨年6月、女性をターゲットにした観光振興を目的に、「モニターツアー」女子旅まるごと西会津ツアー」を企画、実施したほか、KFBふくしまの元気応援CM大賞への作品応募に取り組みました。『ご当地グルメ・特産品グループ』は、郷土料理の「こづゆ」に焦点を当て、アンケート調査、こづゆのルーツ調査、試作に取り組み、

参加メンバーの皆さんは、さらにレベルを上げた活動に意欲を示しており、町では、活動の継続、できることから実践していくことの重要性から平成26年度も若者まちづくりプロジェクト会議を継続していく方針です。今月は「ご当地グルメ・特産品」、「情報発信」のグループで活動した2人に取材しました。



三留 真理 さん[縄沢]

みとめ・まり

東 日本大震災をきっかけに、夫と一緒に西会津の私の実家に戻り、二人でシイタケ、キクラゲ栽培を始めました。きのこ栽培のほか、食品加工や産品の販売も経験し、商品をきちんと説明して販売するためには、町の文化や歴史を学ぶ必要があることに気付き、西会津のことをもっと知るため、若者まちづくりプロジェクト「ご当地グルメ・特産品グループ」に参加しました。

グループでは、「味噌ラーメン」と「こづゆ」に着目しましたが、そもそも町の特産品は何なのか、調査・検討をどう進めればいいのか壁に突き当たりました。町のことをあまり知らない私たちは、町内にどのような資源、素材があるのか、まず、「郷土食・自慢の一品アンケート調査」を実施しました。アンケートは自治区長、食生活改善推進員の方々を対象に行いました。

その中で、かつて菅本では麻を刈り

ふるさとの食文化、郷土料理で西会津に人を呼び込む

取った後に「芋畑蕪(おばたけかぶ)」というカブを栽培していましたが、今では作られなくなったことを知りました。アンケートでは、こうしたほかには無いような原種野菜、郷土料理、こづゆの調理方法などを調査しました。

アンケートの結果、こづゆは町内5地区で作りが異なるため、そのルーツ、味付け、具材、盛り付けについて調べ、自分たちで調理も行いました。その後、西会津ふるさとまつりに出店して振る舞うことを決め、200食準備し提供しました。活動を通して郷土料理の素晴らしさを体感することができました。

メンバーの間では、ほかの郷土料理の調査、こづゆの調理・試食体験といった次の企画が挙がっています。私自身、町の食文化を掘り下げ、郷土料理のルーツ、レシピを紹介するような本を作れたらと考えています。西会津ならではの食文化、郷土料理を生かして町に人を呼び込むことができればと望んでいます。



五寧 陽平 さん[西林東]

ごねい・ようへい

観

光、文化、農産物などの情報発信をテーマに、われわれは若者まちづくりプロジェクトで検討を重ねてきました。メンバー9人で話し合いインターネット上の交流サイト「フェイスブック」と「ポスター」の二つの相乗効果で町の認知度を高める方針を取り組んできました。活動を進める上では、町のイベント情報、風景、地域の催し、人といったあらゆる情報をタイムリーに発信すること、また、情報の受け手との交流によって新たなコミュニティをつくるといった観点も重視してきました。

具体的にはフェイスブックを使って、ふるさとまつりなどのイベントをはじめ、女子旅まるごとツアーなどの観光情報、さらに本プロジェクトの取り組みなどを発信してきました。ポスターは、「西会津に住む人」をコンセプトに、頑張る女性、もう一つは、いろいろなおことに打ち込む人の表情に

効果的な「情報発信」で交流人口増、地域活性化を図る

焦点を当てて二つのデザインをまとめました。

思うようにフェイスブックの読者が増えず、一方、ポスターの製作では笑顔の写真など素材収集に苦労しましたが、たくさんのお会いや発見があり、活動を通して異業種間の人のつながりができました。

西会津の魅力は、私の出身地横浜市には無い日本昔話に出てくるような風景、四季の移ろいの豊かさで、首都圏から遠くなく、若い人たちの意欲の高さも強みだと思っています。

若者が夢を持って生活できる、子どもを安心して育てられる、そんな西会津に行ってみたい、住んでみたいと出陣者はもちろん、みんなに思ってもらえるような町になればと思います。私たちのフェイスブック、ポスターが西会津町の玄関口の役割を果たし、町の楽しいイメージ、魅力づくりに貢献できるような活動していきたいと思っています。

町 政 方 針

『住んでみたい、行ってみたい町へ』

定住促進と交流人口の拡大を総合的、強力に推進

昭

和29年7月1日に1町9カ村が合併し、西会津町が誕生してから60周年を迎える平成26年度は、町総合計画の

『みんなの声が響くまち』を基本に、引き続き「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマとして「こころ豊かな人を育むまちづくり」、「豊かで魅力あるまちづくり」、「人と自然にやさしいまちづくり」を三本の柱に、定住人口と交流人口の拡大を強力的に推進するため各種施策を総合的に実施していきます。

また平成26年度は、町総合計画・前期基本計画の最終年度となることから、平成27年度から5年間の後期計画の策定を町民の皆さんの積極的な参加のもと進めていきます。

こころ豊かな人を育む

教育の振興・人材の育成

子

育て支援の充実では、安心して子どもを産み育てられる地域を目指し、少子化に伴う児童の減少、乳幼児保育の増加、保育施設の老朽化、さらに子ども子育て関連3法を踏まえた「子ども子育て支援事業計画」を策定します。

保育所については、平成26年度から芝草保育所を野沢保育所の分所にする臨時的な対応を取りますが、この状況の早期解消、

町の子育て支援の拠点となる新たな施設整備を進めるため平成26年度中に施設の基本設計を行うっていきます。

また新規に、不妊症などの検査・治療費を補助する「このとりサポート事業」を実施していきます。

学

学校教育の充実・強化では、西会津小新校舎の本体工事に加え、グラウンド、ビオトープ整備、太陽光発電、バイオマスポイラー設備の設置、外溝工事、備品等の整備を進め、円滑な移転に向けた環境整備を推進します。また、小中連携教育を推進するため、教育計画の策定や教員、児童生徒の相互交流を実施します。さらに西会津中の体育館等の天井耐震改修、全教室への空調設備設置により良好な学習環境を整備します。

町

の将来を担う人材を育成するため、町では、若者まちづくりプロジェクト会議を開催し、メンバーがアイデアや企画を出し合い実践活動を行っています。平成26年度もさらに充実した内容で会議を進めていきます。また、生涯学習の推進では、平成27年度から5年間の生涯学習振興計画を策定するとともに、スポーツ、芸術活動を

推進していきます。

豊かで魅力あるまちづくり

地域経済の活性化

農

林業の振興では、「人・農地プラン」作成に取り組み、農業農地を守るための計画づくりを推進します。事業開始から15年を迎えたミネラル栽培については米と園芸作物の複合経営による農業所得向上を目指して一層の生産振興を図ります。

東日本大震災の原子力災害に伴う風評対策では、放射性物質吸収抑制対策、土壌・農林産物のモニタリング検査、米の全量全袋検査により安全・安心を確認し、西会津産農林産物のPRと販売促進に積極的に取り組んでいきます。

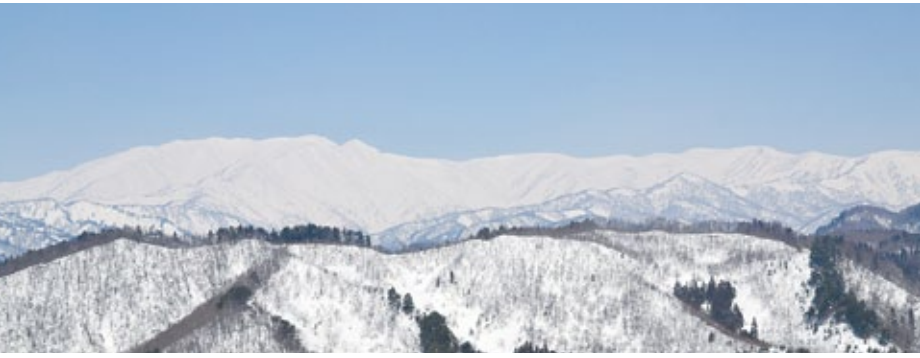
ハウスリース事業では、一定条件のもと夏秋野菜用ハウスのリースを開始します。また、菌床栽培ハウスへの、まき兼用ポイラー導入を支援します。

さらに農林産物加工研修を引き続き実施し、人材の育成と商品のレベルアップを図ります。

森林整備では、新たに広葉樹林の再生に取り組み、森林資源の整備と有効活用を推進します。

鳥獣被害対策では、狩猟免許取得者の雇用による常時捕獲可能な体制づくりなど効果的な被害対策を実施していきます。





商

工業、地場産業の振興では、道の駅にしろあいつ内への販売力強化施設整備の実施設計に着手し、同時に入居者の募集について検討を進めます。さらに野沢まちなかへの誘客拡大、商店街の活性化、生活環境整備などを目的に実施する野沢地区都市再生整備計画事業により平成26年度は原町ポケットパークの用地取得等を行っていきます。

企

業支援では、町内企業が展示会、商談会等に出展する費用を助成し支援を拡充していきます。企業誘致については町の現状・課題を整理し、産業導入・集積の基本的な方向性について計画を策定していきます。雇用の確保では、引き続き緊急雇用創出基金事業、無料職業紹介事業により、一人でも多くの雇用確保に取り組んでいきます。

定

住の促進では、住宅新築費や購入費などを助成する定住促進助成事業、結婚祝金、出会いの場を提供する後継者対策事業を引き続き推進していきます。また、空き家情報の提供、首都圏で地方への定住を支援する関係団体との連携強化により二地域居住を推進します。

さらに、地域おこし協力隊配置事業で都市部から若い人材を招致し、外部からの視点で定住対策、交流促進に取り組みます。

観

光の振興、交流人口の拡大では、新たに設立する観光協会の円滑な運営を支援するとともに、「ふくしまデスティネーション・キャンペーン」のプレキャンペーンが実施されることから、誘客に向けた体験プログラム構築、農家民宿の開業支援など交流人口拡大に向けた取り組みを強化していきます。

また、沖縄県大宜味村や宮古島市、横浜市鶴見区、埼玉県三郷市など友好交流都市等との交流については、現在、物産交流を中心に行っています。また、「モノ」から「ヒト」への交流にステップアップさせていきます。さらに鶴見区のアンテナショップ運営事業により風評払拭と交流促進を図っていきます。

地

域おこしの推進と人材育成では、「活力ある地域づくり支援事業」を引き続き実施し、地域資源の発掘、途絶えていたイベントの復活など、地域活性化に向けた事業に自主的に取り組む団体や町民の皆さんを積極的に応援していきます。また、県の「大学生の力を活用

した集落復興支援事業」により、宮城教育大学の皆さんが上谷地区、新郷富士地区の調査・支援活動を行ってきましたが、平成26年度は奥川地区を対象とした調査・支援活動により地域活性化を図っていきます。

情報化の推進では、ケーブルテレビ情報インフラの活用方法の調査・研究、地域情報化基本計画の策定作業を進めていきます。

健

人と自然にやさしいまちづくり
健康づくりと安全安心

健康づくりの推進では、「健康がいちばん!」をキャッチフレーズに、食と運動と健康(検診を相互に連携し、健康寿命の延伸を図っていきます)。

食に関しては、家庭での健全な食生活が実践できるよう、機会をとらえて普及活動を推進します。特に適塩量の普及啓発により生活習慣病予防を進めます。運動については、町民一人一運動を推進し、運動の習慣化を町内に広げていきます。健診では、受診率向上はもとより、二次検診対象者への受診勧奨を積極的に行い、生活習慣病の重症化予防により医療費削減につなげていきます。また生活習慣病に密接なかわりがある喫煙について、働き盛りの方の喫煙率が高いため、禁煙指導とともに児童



生徒への防煙教育も進めます。
平成24年度から開催している町民参加型健康まつり「健康がいちばん」については、平成26年度は「運動」に焦点を当てた取り組みを予定しています。

医

療体制の充実では、西会津診療所の医師4人体制を維持しながら、これまで、にしあいづ福祉会で実施してきた訪問看護事業所を西会津診療所に移し、町直営により訪問看護を行うことで在宅医療の充実を図ります。

高

高齢者福祉体制の充実では、高齢者が住み慣れた家庭で安心して生活できるよう介護予防や在宅福祉サービスの充実を図るとともに、認知症サポートの養成、また、サロンや地域ネットワーク構築支援により地域ぐるみの支援体制を強化していきます。施設入所者支援では、グループホームを利用しやすくするため町民税非課税世帯の入所者の家賃を助成し、経済負担の軽減を図ります。

平成26年度は、第5期介護保険事業計画の最終年となることから、計画の評価検証、第6期介護保険計画の策定を行います。

障がい者福祉については、障

害者総合支援法への移行による制度改正に併せ、スムーズな移行や事業の充実が図られるよう取り組みを進めていきます。

デ

マンドバス運行では、平成26年度から次の3点の改善を図り、より利便性の高い運行体系にしていきます。1点目は、まちなか循環線の始発便の運行時刻を1時間繰り上げ、JR野沢駅7時52分発の上下線列車と接続するよう改善します。また同循環線の2番の便について高速バスとの接続を考慮し運行ダイヤを見直します。2点目は、同循環線のAコース(野沢から尾野本廻り)、Bコース(尾野本から野沢廻り)の交互運行について利用実態に合わせたコース、ダイヤに見直します。3点目は、同循環線の停留所時刻表示について、分かりやすい表示に変更することになっています。また、予約することが困難な方の代理予約者確保について、民生委員や自治区長との協議により、その仕組みづくりを進める考えです。

防

災害対策では、ほかの自治体との災害時相互応援協定、事業所との物資等の支援協定の拡大を図り防災力の向上を一層推進します。

集

落支援対策では、引き続き集落支援員を配置し、高齢化率が高く、機能が低下している集落のニーズに応じた支援を実施するとともに、地域おこし活動に対しても側面から支援を行います。コミュニティの支援では街路灯、防犯灯のLED化等の費用の一部を助成し自治区の負担軽減を図ります。

道

路網の整備では、町縦貫道路の整備を引き続き進めるとともに、町道漆窪線、寺ノ上線、真ヶ沢3号線が平成26年度に完成するよう取り組んでいきます。また町道小学校線の測量に着手していきます。

上

下水道の整備では、水道施設については老朽管更新基本計画を策定していきます。また簡易水道施設整備事業補助金により下安座地区の施設改修、屋敷地区の未普及地区解消を図ります。下水道は特定環境保全公共下水道・野沢処理区、個別排水処理施設の整備を進めます。

以上の各種施策について、実現可能なものから順次、効率的・効果的に推進し、まちづくりの基本理念「みんなの声が響くまち・にしあいづ」の実現に向けて全力で取り組んでいきます。



3月町議会定例会報告

町政の主要事項 報告から

役場本庁舎移転に係る 庁内検討組織の設置

役場本庁舎は、建築後50年が経過し老朽化が著しいため、平成27年4月に新校舎へ移転する現西会津小学校施設に本庁舎機能を移すことにしています。

この移転準備のため庁内検討組織を昨年10月に設置し、検討作業を進めており、町民の皆さんが利用しやすい庁舎となるよう利用計画や改修計画等について今後十分に検討していく考えです。

3月町議会定例会は3月7日から19日までの13日間を会期に開かれ、条例の制定や一部改正、平成25年度補正予算、平成26年度当初予算など議案50件、報告1件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

定例会での町政の主要事項報告の内容と可決された議案についてお知らせします。

ICT地域マネージャー 派遣事業

町では、この事業で総務省から専門家の派遣を受け、情報インフラの活用方法の検討、地域情報化基本計画の策定作業を進めてきました。現在の進捗よく状況は、基本計画は素案策定の段階まで進んでおり、引き続き平成26年度も計画の策定作業を進めていきます。

携帯電話エリア整備

平成25年度は上谷地区で携帯電話が使えるよう携帯電話エリア整備事業を行ってきました。工事は順調に進み、計画通り年度内に完成する見通しです。

災害時における 応援協定の締結

町では1月23日に、国土交通省東北地方整備局と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しました。

また、2月4日には埼玉県三郷市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。今後より一層の防災力向上を図るため、ほかの自治体との災害時相互応援協定や事業所との物資等の支援協定締結について順次拡大を図りながら、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

沖縄県宮古島市との食生活 改善推進員の交流

友好都市の宮古島市との食生活改善推進員の交流事業で、2月8日に同市の食生活改善推進員の皆さんが来町しました。2日間の日程で行った交流事業では、互いの郷土食を学ぶとともに、活動状況を発表し合い、情報交換を行いました。今後は、食生活改善のみならず、広く経済面での交流も活発になるよう宮古島市との交流を深めていく考えです。

介護施設サービス の開始

有限会社なごやかが進めてきた介護付き有料老人ホーム「しなのきホーム西会津」は、3月1日よりサービスを開始しました。一方、社会福祉法人啓和会が整備を進めている「認知症高齢者共同生活介護グループホーム」と「小規模多機能型居宅介護事業所」は2月24日に建築工事が始まったところであり、本年9月のサービス開始に向け整備が進められます。

商業団地A区画整備の 進捗よく状況

町では平成24年度に商業団地A区画施設整備基本計画を策定し、平成25年度は商業活性化施設整備検討委員会を組織し、補

助事業導入の検討や先進地視察研修のほか、補助事業採択に向け農林水産省東北農政局との協議を行ってきました。本年2月18日には農林水産省から施設整備に係る「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業」の割当内示があり、本補助事業を活用してA区画に「地域連携販売力強化施設」を整備する計画です。今後は、入居者の募集、施設運営形態などの検討と併せ、補助金の所要の手続き完了後、平成26年度に施設の実施設計に着手し、平成27年度には施設整備を行う考えです。

町観光協会の 組織見直し

町観光協会は、昭和30年1月に設立されて以来、観光PR、観光施設整備、誘客など、町の観光振興、経済活性化を担ってきました。しかし近年、旅行形態の変化、観光客の減少に伴い観光事業の縮小、会員の減少などが進み、町では、さらなる観光振興に向けて組織や業務内容などの検討、見直しを進めてきたところです。

見直しの内容は、まず観光関係団体である観光協会、大山まつり実行委員会、グリーンツーリズム協議会を統合し、窓口を一元化する。二点目は、行政主導から、柔軟で迅速な対応がで



きる民間主導の組織にする。三日は、観光に関するノウハウや人脈の蓄積を図るとともに既存の観光資源を磨き上げ、体験・交流型の観光を推進する。この三点を基本に見直し作業を進めているところ。新たな観光協会の事務局は株式会社西会津町振興公社を予定しています。現在、設立準備会において名称や会則、会費などの検討を進めており、今後、会員の募集を行い、本年4月に新しい観光協会を設立する考えです。

定住促進助成事業

この事業は若者の定住促進策として平成25年度に新たに導入した補助事業です。町内に住む45歳以下の若者や町への移住者が、町内に住宅を新築する場合や住宅を購入する場合などに補助金を交付する「定住住宅整備費補助金」は、2月20日現在、新築7件、増改築2件、中古住宅購入3件の交付決定を行ったところです。今後も事業の周知等を積極的に行い、定住促進を図っていきます。

地域おこし協力隊の配置

町では、昨年6月から「地域おこし協力隊」を1名配置し、定住促進や交流人口拡大に向けた事業、また地域活性化に向けた支援を行ってきました。特に、協力隊

員の能力や適性を生かし、集落等のイベント支援、グリーンツーリズム活動の支援、地域おこし団体との交流などを通して地域の活性化に努めてきました。町では今後も、隊員の町外からの視点や情報発信力を生かし、地域活性化が図られるよう積極的に活動を支援していきます。なお、平成26年度の地域おこし協力隊の募集については3名を予定しており、新たに隊員を確保していく考えです。

放射性物質に対する検査

一般食品等では、これまで野菜、山菜、キノコ類、井戸水などの簡易検査を行い、いずれの食品等からも放射性セシウムは検出されていません。

学校給食用食材は、県などのモニタリング調査で安全が確認されたものだけを使い、さらに町独自に食材を検査し、安全・安心な給食の提供に努めています。平成25年度産米の全量全袋検査は約10万8千袋の検査を実施しました。結果はすべて測定下限値未満となっています。また米以外のいずれの農林産物も基準値を下回っています。しかし、風評により本県産農林産物の販売状況は厳しい状況であることから、県やJ・Aなど関係機関と連携しながら風評払拭に努めていきます。

新たな米政策について

国は昨年12月に農林水産業・地域の活力創造プランを取りまとめ、「農地中間管理機構設立による農地の集積」、「経営所得安定対策の見直し」、「水田フル活用と米政策の見直し」、「日本型直接支払制度の創設」の4つの改革を決定し、これまでの生産数量目標の配分をなくすなど、大きな方向転換となったところです。このような中、平成26年度の町の生産数量目標は昨年度より93ト減の3千33トが配分され、農業再生協議会において配分率を58・6割と決定し、農家の皆さんにお知らせしたところです。

微小粒子状物質「PM2.5」について

大気汚染物質のPM2.5は粒子が非常に小さいため肺の奥まで入りやすく、健康への影響が懸念されています。2月26日、県は観測値が国の暫定指針値1日平均70マイクログラム/mを超えたため県内全市町村に初めて注意喚起情報を流し、町ではこれを受け、小中学校、保育所、高校に連絡するとともに町民の皆さんに外出を控えるよう周知を行いました。今後も国、県からの情報を注視し的確に対応していきます。

可決された議案

に自動発券機が導入されたことなどに伴う条例の廃止
平成25年度補正予算Ⅱ一般会計ほか、商業団地造成事業特別会計など9会計

町訪問看護事業所設置条例制定Ⅱ西会津診療所内に訪問看護事業所を設置し、本年4月から町直営でサービスを行うため制定

町ケーブルテレビ施設の設定及び管理に関する条例の一部改正Ⅱダビングサービスの充実などのための一部改正

町電気通信事業条例の一部改正Ⅱ町内事業所を対象に回線速度100メガbpsのインターネットサービスの提供するため改正

職員給与に関する条例の一部改正Ⅱ災害派遣手当に係る所要の改正

町在宅老人福祉手数料条例の一部改正Ⅱミニデイサービスに係る手数料を規定するため改正

町保育所条例・町へき地保育所条例の一部改正Ⅱ芝草保育所を野沢保育所の分所とし、また新郷保育所を廃止するため改正

町ふれあい交流施設条例の一部改正Ⅱ町社会福祉協議会から譲り受ける屋内ゲートボール場を同交流施設に追加する改正

町法定外公共物の管理に関する条例の一部改正Ⅱ消費税法等の改正に伴う関係規定の改正

徳沢・上野尻駅簡易委託業務運用基金の設置及び管理に関する条例の廃止Ⅱ徳沢、上野尻駅

平成26年度町一般会計予算Ⅱ予算総額63億5千500万円

平成26年度特別会計等予算Ⅱ工業団地造成事業特別会計ほか11会計

平成26年度町一般会計補正予算(第1次)Ⅱ3千417万6千円の増額

工事請負契約の変更契約Ⅱ町道明神橋線(明神橋)耐震補強工事、町道野沢柴崎線(橋立3号橋)橋梁下部工事、西会津小学校新校舎建築主体工事、同電気設備工事、同機械設備工事

町道の廃止・認定Ⅱ町道下條線など2路線廃止と3路線の認定

辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更Ⅱ奥川辺地計画変更

町過疎地域自立促進計画の変更Ⅱ地域連携販売力強化施設整備事業などの追加

本町財産区管理委員の任命への同意Ⅱ橋谷田政雄さん(1町内)、石川寅雄さん(1町内)、大沼幸雄さん(2町内)、若林陽三さん(2町内)、渡部信一さん(1町内)の任命に同意

教育委員会委員の任命への同意Ⅱ新井田大さん(小杉山)の任命に同意



ぼくたち わたしたち 新一年生



萱森 西安 堀 芝 下 8 5 3 2 1 自治
 本野 原座 牧 草 小屋 町内 町内 町内 町内 町内 区
 須佐 渡上 伊須 伊清 渡部 三黒 物江 加南 山口 平野 橋谷 大
 藤藤 部野 藤藤 藤野 部部 留澤 江江 藤藤 口口 野野 谷田 沼
 大 莉 姫 妃 結 晃 和 倅 南 弘 虹 大 龍
 葵 雅 色 杏 菜 大 花 輝 々 梨 翔 翔 龍
 くん くん さん さん さん くん さん さん さん さん くん くん くん くん

今年の入学生35名の皆さん

山 向 宝 下 上 牛 上 さ 西 尾 松
 浦 原 川 野 野 野 小 小 林 登 尾 松
 落 佐 佐 外 岩 目 渡 渡 五 高 佐 大 齋 齋 築
 合 藤 藤 島 倉 黒 部 部 十 松 藤 竹 藤 藤 田
 「3月15日現在」 優 瑠 和 英 柚 渡 五十 高 日 愛 裕 遥 鈴
 斗 太 夏 子 季 依 依 松 向 華 樹 哉 木
 さん くん さん さん さん さん さん さん さん さん さん さん さん さん さん さん

4月から真新しいランドセルを背負った新一年生が西会津小学校に通学します。今年の新一年生は、平成19年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた児童35名です。2月26日には、「新しい一年生を迎える会」が西会津小学校で行われ(写真)、入学を心待ちにする子どもたちは元気良く教室に入り、先輩一年生と一緒に小学校生活を体験しました。

新一年生を迎える会では、西会津小の松本敬之校長が「皆さんの入学を楽しみにしています。今日は学校をよく見ていってください」とあいさつ。先輩一年生の鈴木正人くん、橋谷田真さんを出迎えました。緊張気味だった新入学児の皆さんは、先輩一年生が考えた輪投げ、紙相撲、魚釣りなどのゲームで遊ぶと次第に打ち解けました。終わりの会では、大沼龍飛くんと渡部咲依さんが「楽しかったです」と感想を発表しました。新入学児の皆さんは新しい学校生活への期待で胸を膨らませていました。

かずし 高久一志さん全国サンマッシュ品評会で奨励賞

優良な品質の菌床シイタケ生産を目的とする生産者組織「全国サンマッシュ生産協議会」が主催する第24回品評会で高久一志さん(柴崎、写真中央)の菌床シイタケが奨励賞に輝きました。品評会には約1000点のシイタケが出品され、その中で福島県内では唯一の受賞となりました。表彰式は1月28日に徳島県で行われました。

3月12日、高久さんは町役場を訪れ伊藤町長に受賞を報告し、「これからも栽培技術を高め、品質にこだわっていききたい。西会津から震災復興をけん引できれば」と抱負を述べました。農事組合法人会津きのこ工房の三留満代表理事(写真左)が同行しました。



設立10周年の節目祝う

町ボランティア活動サポートセンターの設立10周年記念式典が3月2日、町公民館で行われました。式典では、同センターの齋藤宏一会長が「求めに応える本来のボランティア活動を今後も続けていきます」とあいさつ。続いて、初代会長を務めた永井利吉さん(新町、写真)、前会長の山口岩男さん(下野尻)、金色(500時間)を達成し退会した佐藤信さん(下野尻)に齋藤会長が感謝状を贈りました。来賓祝辞の後、活動1000時間を達成し名誉会員章を受賞した鈴木和子さん(下野尻)が自身の活動を報告しました。式典後には福島大学行政政策学類の鈴木典夫教授が、同センターの生い立ちと今後のボランティア活動を演題に講演しました。

「難しい人形づかい」練習の成果披露

西会津小伝統クラブの皆さんが、3月9日に開かれた生涯学習発表会で「屋敷人形芝居」を披露しました。同クラブは群岡小伝統クラブの活動を受け継ぎ、今年度は自ら活動を希望する児童13名が町指定重要文化財・有形民俗資料の屋敷人形芝居について学び、昨年5月から11月まで週1回練習を重ねてきました。この活動は高く評価され、2月9日開催の「ふくしまっ子総合文化祭」への出場が決定し、発表する予定でしたが大雪の影響で出場を中止したため、かないませんでした。児童らは自分たちで台本作りも行ってきました。学習発表会では児童が舞台下から一生懸命手を伸ばし、難しい人形づかいを来場者に披露しました。



富士山に引けを取らない「冬山」の自然満喫

富士山スノートレッキングが2月23日、新郷・富士山(標高508.8m)で開かれ、参加者はスノーシュー(西洋版かんじき)を履いて冬山を巡り自然を満喫しました。新郷の富士山は、世界文化遺産に登録された富士山に高さでは遠く及ばないものの、頂上からの素晴らしい眺めや小動物との出会いなどを堪能できるため、寺前自然塾では昨年、このスノートレッキングを開始し、今年2回目の開催になりました。小清水集落に集合した参加者は、漆窪から登山道に入り、真っ白な深雪を踏みしめながら雪上を進み山頂を目指しました。下山後には寺前自然塾の皆さんが心のこもった豚汁を参加者に振る舞いもてなしました。

今日からチャレンジ！禁煙生活

健康づくりへ第一歩、『禁煙』始めてみませんか。

喫煙の健康への影響

喫煙は、肺がんなどの「がん」をはじめ、心筋梗塞、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器系疾患になる危険性を高めることが報告されています。

たばこの煙には、ニコチンやタール、一酸化炭素といった有害な成分が含まれ、ニコチンは血管を収縮させ、また、タールは発がん物質で、一酸化炭素は酸素不足を引き起こし、健康に悪影響を及ぼします。こうした有害物質により、喫煙者の肺がん死亡率は、たばこを吸わない人に比べ4・5倍高く、喉頭がんの死亡率は32・5倍も高くなっています。

平成24年の国民健康栄養調査によると福島県の習慣的な喫煙者の割合は39・2%と全国1位の結果でした。

たばこによる健康への悪影響は、喫煙者本人にとどまらず、周りのたばこを吸わない人にも受動喫煙（他人のたばこの煙を吸ってしまうこと）

によって影響を与えてしまいます。このため、人が大勢集まる場所などでは健康増進法で受動喫煙防止対策の徹底が求められています。



こうして禁煙しよう

- ◆禁煙開始日を決め、禁煙宣言をする
- ◆喫煙行動を手帳などに記録する
- ◆たばこを吸いたくなる場所、状況を避け、吸いたくなったら別の行動をする
- ◆たばこを勧められたときの上手な断り方を身に付けておく
- ◆再び吸い始めやすい状況を予測し、その対策を練習しておく
- ◆禁煙に失敗したときは、今回の経験が次回に役立つと考えるようにする

「禁煙」で体の機能は回復

- 禁煙の効果はその日から始まります。
- 20分Ⅱ 血圧、脈拍が正常値まで下がる
- 8時間Ⅱ 血液中の酸素濃度が上昇
- 24時間Ⅱ 心臓発作の危険性が低下
- 48時間Ⅱ 嗅覚や味覚が改善
- 2〜3週間Ⅱ 循環器や肺の機能が改善
- 1年Ⅱ 虚血性心疾患の危険性が喫煙者の半分に減少
- 5年Ⅱ 肺がんの危険性が喫煙者の半分に減少
- 10〜15年Ⅱ 脳卒中や肺がんの危険性がたばこを吸わない人の水準に近づく

禁煙したい方はお気軽にご相談ください。
【問い合わせ先】健康支援係 ☎451-4532

町では、健診時の問診で禁煙を希望した方を対象に「卒煙教室」を開催しました。今月は卒煙教室に参加した平野芳朗さんに伺いました。

*

卒煙教室に参加した理由は「喫煙は50年以上で、多いときは1日20本ほど吸っていました。一度禁煙しよう」と病院に行き、薬を出してもらいましたが結局続かず、数日でやめました。今年初めに卒煙教室の案内が届き、迷っていたところ保健師さんから誘われ参加することを決めました。

教室参加後の感想を「喫煙者の肺の写真を見て、また、たばこの害について説明を受け、サポートを受けながら禁煙を始めようと思いましたが、その後、群馬診療所を受診し2月1日から禁煙を始めました。



平野 芳朗さん [下野尻]

禁煙目指す『卒煙教室』参加者にインタビュー

この1本でやめようかな。



坂田先生や保健師さんが相談に乗ってくださり、「応援してもらっているから一人ではない」と心強い気持ちになり、今回こそは禁煙できそうです。家族のために少しでも生き生きできるよう頑張りたいと思います。

体に変化はありましたかー禁煙してから1カ月ほどたち咳や痰が少なくなりました。食べ物もおいしく感じています。何より周りの応援が心の支えになっています。

家族の反応は一家の中では吸わないようにしていましたが妻は私の体を心配していました。妻に、本当にやめたのか疑われることもありましたが、今回は禁煙を続けているので安心していいようです。

喫煙者にメッセージを「自力でたばこをやめる人もいますが、医師や保健師さんから助言を受け、薬を飲みながら禁煙すると自然にやめられます。

ゆっくり階段を上るように一段ずつ進む方法がやめる秘訣だと思います。親身に相談に乗ってもらえるので、禁煙したいと思っている方は、診療所の先生や保健師さんに一度相談してみたいかがでしょうか。

シイタケが主役の「すし」と「すまし汁」

西会津産 シイタケの すまし汁と 手まりずし

9

すまし汁 材料 (2人分)
 ・干しシイタケ 小2枚
 ・ゆでたけのこ(穂先) 20g
 ・三つ葉 少々
 ・だし汁 300cc
 (水400cc・昆布5cm・かつお節ひとつまみ・干しシイタケ2枚の戻し汁)
 ・酒、薄口しょうゆ 各小さじ2
 ・塩 少々

作り方 ①戻した干しシイタケは千切り、たけのこは薄切り、三つ葉は3cmに切る。②鍋にだし汁、酒、シイタケ、たけのこを入れて煮る。③しょうゆと三つ葉を入れ軽く煮て、塩で味を調える。

手まりずし 材料 (2人分)
 ・干しシイタケ 小8枚
 ・A 濃口しょうゆ 大さじ1、砂糖・みりん 各大さじ1/2
 ・酢飯(ご飯1合に酢大さじ1、砂糖小さじ1、塩少々、いり白こま小さじ1を混ぜる)

作り方 ①戻した干しシイタケの石づきを取る。②鍋にシイタケとそれが浸る程度の戻し汁、Aを入れ強火で煮る。沸騰後、中火で10分ほど煮る。あくは取り除く。③煮汁のまま冷まし、ラップで煮シイタケと酢飯を包む。



チャレンジ!!

シリーズ

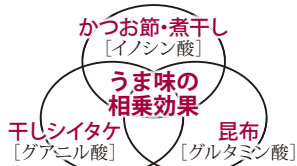
食育

●心と体を豊かにする和食の力

世界に認められた和食の 決め手『だし』の魅力



だしを組み合わせることによって、さらに強いうま味を出せます。うま味は、味にコクや広がりを出し、まろやかさ、濃厚感、さらに食材そのものの風味を増す働きがあります。このため、うま味は減塩に大きな役割を果たしています。



簡単おいしい「だし」の取り方

【昆布・シイタケ】茶碗蒸し、汁物
 水1000cc・昆布10cm・干しシイタケ3枚
 ふた付きの容器に水、昆布、干しシイタケを入れ、冷蔵庫に1日置く。

【昆布・かつお節】汁物、おひたしなど
 お湯500cc・昆布10cm・かつお節8g
 お湯を鍋などに入れ、そこに昆布、かつお節を入れて1分置き、布などでこす。

- 1 多様で新鮮な食材**
海、山、里の幸といった豊かな自然の恵み、地域のさまざまな食材が用いられます。
- 2 バランスのよい汁三菜**
主食・主菜・副菜・汁がそろった和食は、栄養バランスに優れています。また、うま味を活用することで動物性油脂の少ない食生活になり、肥満防止や日本人の長寿を支えています。
- 3 季節の旬を味わえる**
旬の食材は栄養価が高く、またその季節の花や葉などの彩りで季節感も楽しめます。
- 4 年中行事とのかわり**
日本の食文化は年中行事と密接にかかわりはぐくまれてきました。自然の恵みである食を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めることができます。

昨

年12月、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」は、米、野菜、魚などを基本食材とし、すしや刺し身、天ぷらのほか、湯豆腐といったように素朴な調理法にも特徴があります。

甘味・酸味・塩味・苦味・うま味の5つの基本味のうち、昆布、かつお節などから抽出される「うま味」は、日本で発見されました。さまざまな化学調味料や加工品が多く使用される中、うま味をおいしいと感じられる味覚が健やかな心身をはぐくむといわれています。

8団体が活動成果を披露

生涯学習発表会

3月9日、平成25年度生涯学習発表会を町公民館で開催しました。

主催は、出演団体が構成する「生涯学習発表会実行委員会」で、昨年12月から打合せなど運営のための準備を進めてきました。

当日、町公民館には約150人が来場し満席となりました。

出演した8団体は、踊りや太極拳など、17の演目を披露し、日ごろの活動の成果を発表しました。また今回は西会津小学校屋敷人形クラブが出演し、発表会を盛り上げました。



▲西会津ダンスサークル 演目「チャチャチャ」

実行委員の皆さんは「司会をしたり出演したりと忙しかったが、楽しく、生きがいを感じた」「準備は大変だったが大勢の方に見に来てもらってうれしかった」などと充実感であふれていました。

【出演団体】(発表順)

- 野沢民舞会(踊り)
- 穂波会(踊り)
- にしあいづ太極拳愛好会(太極拳)
- すこやかクラブ(スポーツ民謡)
- 西会津ダンスサークル(社交ダンス)
- 西会津小学校屋敷人形クラブ(人形芝居)
- レクリエーションダンス愛好会(ダンス)
- 舞華囃(よさこい踊り)



▲穂波会 演目「俵つみ」

「男」のスイーツ作り教室

開催

3月9日、町公民館で「男のスイーツ作り教室」を開催しました。

講師は、お菓子作り教室を主宰する渡部眞理子さん(5町内)で、今回はホワイトデー用のクッキーとキャラメル作り挑戦しました。

ほとんどの参加者は、お菓子作りが初めてで、不慣れな手つきでしたが、出来上がったクッキー、キャラメルは大変おいしく、「バレンタインのお返しとして妻に喜んでもらえそう」「一度作ってみたかった」「参加してよかった」など話し、参加者は満足していました。



▲講師の渡部さん(手前中央)と参加した皆さん

第39回 奥川健康マラソン大会 参加者募集



初夏の奥川路で健脚を競う第39回奥川健康マラソン大会の参加者を募集しています。

- ◆日時 6月15日(日)
- ◆会場 奥川みらい交流館グラウンド
- ◆参加料 親子(小学1、2年生) 2,000円
小中学生、高校生 1,000円
一般 2,500円

◆参加申込書配置施設

町公民館、町役場、新郷連絡所、奥川みらい交流館、さゆり公園管理棟、道の駅よりっせ など

- ◆申込期限 5月9日(金)

問 大会事務局(町公民館) ☎45-3244



町民バトンタッチ

さとう まこと
佐藤 誠さん [榎木平]

さとう ゆうき
佐藤 裕紀さん (3月号から) メッセージ

仕事も婚活も頑張ってるね!! 今度、同級生みんなでご会いましょう。

あなたの趣味は?

キャンプなどアウトドア

特技は?

どこでも寝られること

最近感動したことは?

ソチ五輪での浅田真央さんのフリーの演技に感動

自分を一言で表現するとしたら?

森のクマさん

熱中していることは?

婚活

あなたのモットーは?

早起き

これからやってみたいことは?

海外旅行、グアムに行ってみみたい

次の方を紹介してください

T・Iさん (榎木平)

大切なものは?
『海上自衛隊入隊時の写真。10年前、潜水艦に乗るための訓練で仲間と生活をともにしました』



町民ギャラリー

まんさく俳句会

(3月定例会)

恋猫のニヤオニヤオミヤオ間を裂く
星凍つる夫の迎への午後十時
昨日より畔に雪間の広がれり
梅小枝友より届き部屋春に
啓蟄や小さき命に背を押され
寒の入り心になふ年重ね

相原 芳子 (九町内)
五十嵐照子 (原)
小野木麗子 (真ヶ沢)
橋谷田季美 (一町内)
矢部 弘子 (中町)
荒海與志男 (さゆりが丘)

聞いて! わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。

今回は、2年・生徒会役員の伊藤瑠威さんです。

わたしの夢——

「将来の夢はまだはっきり決まっていません。そのときによっていろいろ変わります。でも今は医師になりたいという気持ちがあります。ある病院の先生のおかげで身内の命が救われたからです。その先生は普通だったら見つけられないような病気を発見し、手術で命を救いました。そのことに本当に感動し、とてもすごい職業だと思いました」



努力していること——

「普段から『人に優しく、自分に厳しく』を心掛けています。これはどのような職に就くためにも大切なことだと思っています。また一歩先を考えること、次は何をすべきか、今やっていることが正しいか、自分にプラスになっているかなど常に考えるようにしています」

最後に未来の自分に一言——

「なりたい職業に就けましたか? 後悔していることはありませんか? 僕は今、後で後悔しないために頑張っています」

まちの人口 ～3月1日現在～ (前月比)

人口	7,258人	(-11人)
男	3,478人	(-8人)
女	3,780人	(-3人)
世帯	2,769世帯	(-2世帯)

戸籍の窓口 ～2月受付分～ (敬称略)

お誕生おめでとう

佐藤 真優ちゃん 康弘・明日香 芝草



お悔やみ申し上げます

加藤 虎之助 (91)	重吉 父	4町内
棚木 幸雄 (80)	清子 夫	5町内
武藤 テル子 (81)	啓三 妻	9町内1
齋藤 虎雄 (81)	光男 父	萱本
渡部 壽一 (75)	惣一 父	上小島
佐藤 京子 (59)	勝一 妹	榎木平
鈴木 一男 (83)	トヨ 夫	向原
小椋 松美 (80)	菊枝 夫	弥平四郎
結城 巖 (91)	和夫 父	小綱木



高齢者福祉ボランティア「野菊の会」に
福島県社会福祉協議会長が感謝状贈呈



高齢者福祉ボランティア「野菊の会」に、このたび福島県社会福祉協議会長から感謝状が贈られました。3月4日、同会の佐藤廣子会長らがその報告のため町役場を訪れました。(写真＝左から山形洋子さん、高橋栄子さん、会長の佐藤廣子さん)

同会は平成12年2月に設立以来、毎週1回、特別養護老人ホーム「さゆりの園」で施設利用者の入浴後のケアといった支援ボランティアを続けてきました。

報告を受けた伊藤町長は「社会福祉活動の模範になる素晴らしい取り組みに感謝します。活動の継続をお願いします」と謝意を述べました。

70～74歳の医療費窓口負担が
見直されます

70歳から74歳の方の医療費窓口負担は、法律で2割となっていますが、特例措置でこれまで1割負担とされてきました。厚生労働省では、より公平な仕組みにするため、平成26年度からこの特例措置を見直すことにしました。

【見直し内容】

◆平成26年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える方(誕生日が昭和19年4月2日以降の方) = 70歳の誕生月の翌月(ただし、1日が誕生日の方はその月)の診療から窓口負担が2割になります。

◆平成26年4月1日までに70歳の誕生日を迎えた方(誕生日が昭和19年4月1日までの方) = 平成26年4月以降の医療費窓口負担は1割のまま変わりません。

【問い合わせ先】 健康福祉課 ☎45-2214

百歳賀寿



上野尻の安部寅次さんが3月15日に満100歳を迎えました。安部さんは大正3年の生まれで、15日に行われた賀寿贈呈式では、親族が見守る中、伊藤町長、町老人クラブ連合会の渡部雅二郎会長らから安部さんに賀寿と祝い金、記念品が贈られました。

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・広報広聴係 ☎45-4536

西会津中・西会津小卒業式から

西会津中卒業式では、佐久間雄彦校長が卒業生65名一人一人に卒業証書を手渡しました。卒業生代表の答辞で礚 滯風さんが「目標に向かって困難を乗り越えていきます」と誓いました。西会津小の卒業式では、56名が学びやを巣立ちました。松本敬之校長は式辞で「我慢強い努力を忘れず中学校生活を送ってください」と真新しい中学校の制服に身を包んだ卒業生にエールを送りました。



西会津中
卒業式
Congratulations



西会津小
卒業式
Congratulations

[写真]①西会津中での卒業証書授与／②同・送辞で先輩に感謝の気持ち伝える高橋晃樹さん／③同・答辞を述べる礚さん／④同・会場を後にする卒業生／⑤同・クラスの仲間で記念撮影／⑥同・学校生活最後の校歌斉唱

①西会津小卒業式・卒業証書を受け取る荒明拓夢さん／②同・卒業記念品を受け取る高橋由輝さん／③同・松本校長に卒業記念品を贈る石川 彩さん／④⑤同・涙ぐみ別れの歌を歌う卒業生／⑥卒業生との呼び掛けで別れを惜しむ在校生

今月の表紙

3月13日、西会津中の卒業生は仲間とのたくさんの思い出を胸に旅立ちました。佐久間校長は卒業生に「自分で考え行動し、未来を力強く生き抜いてください」とはなむけの言葉を贈りました。卒業生は最後に涙をぐっとこらえて式歌『旅立ちの日に』を歌いました。

